邪神の庭
18
FOR ADULT ONLY
かぜうま

長い間人が踏み入った形跡が残ってないね
この先に行くの私達がはじめてなんじゃない？
お宝あるかな～？
…止まれ！奥が明るい

……

これは……
神殿跡…か？

ざっと見た感じ
罠らしきものは
なさそう…
そっちはどう？

魔術的な罠も
ないと思う
けど……

はい…
大きな神聖力…
神々の力を感じます

精霊の気配が
ものすごく強くて
さらに…

それ古代語でしょ
なんて書いて
あるの？

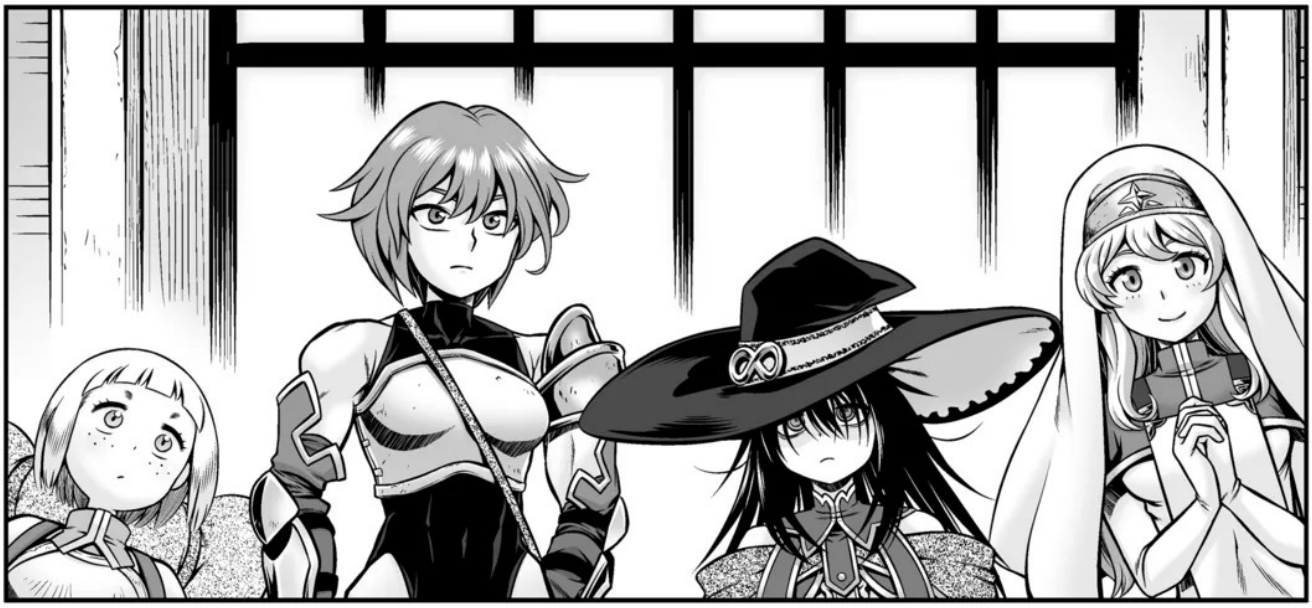
……ん
簡単にまとめると

邪悪な神を
ここに封じる
決して触れること
開放することなく
立ち去るべし

だね

…聖都に伝わる伝承では
神話の時代
時の大神官と巫女たちが
この地の何処かに
暴虐の限りを尽くした邪神を
神々と精霊の力を借りて
封じたとあります

もしかするとその件の邪悪な神がここに封印されているのかもしれませんね



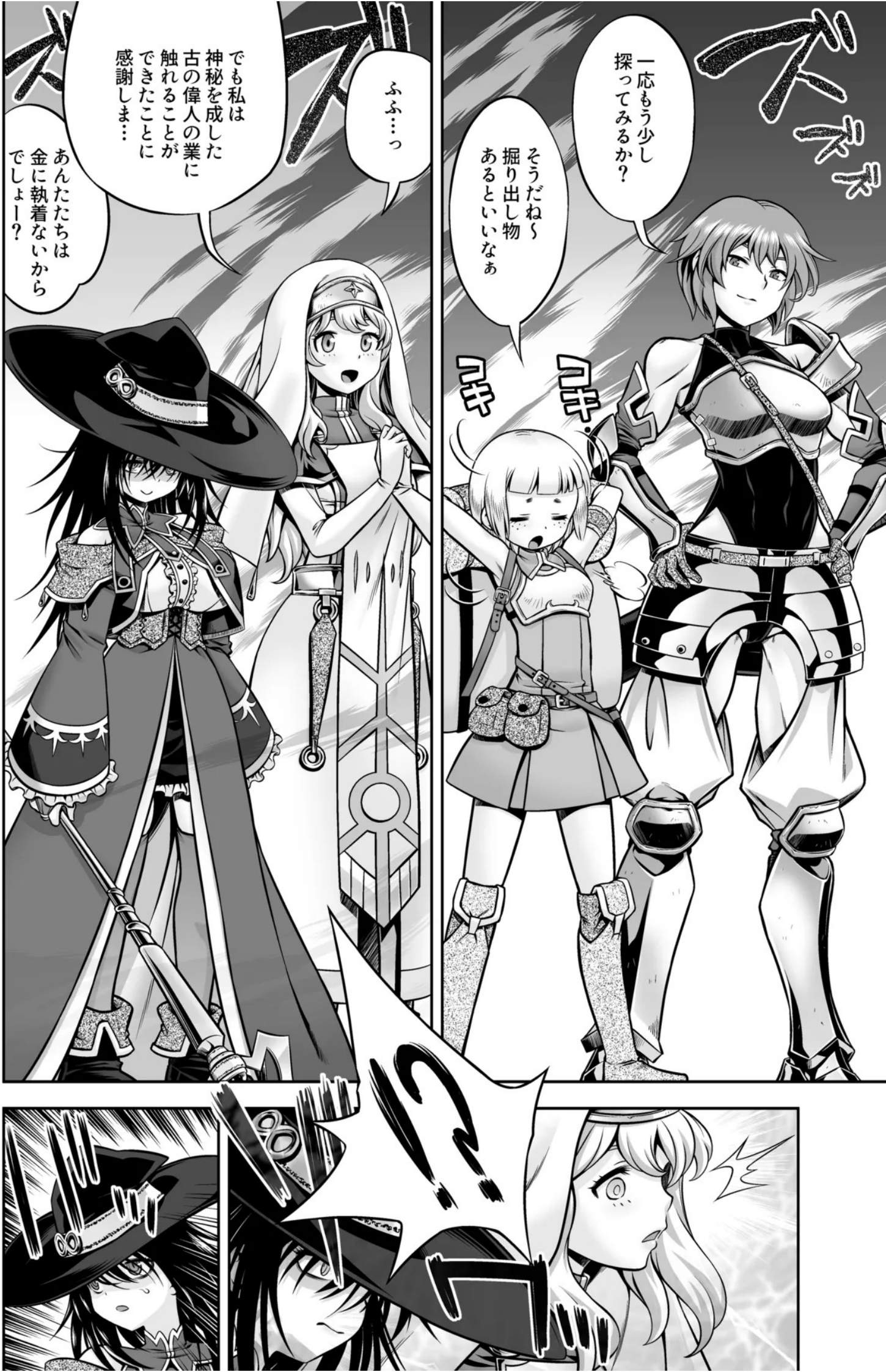
はーあ…それじゃあお宝は期待できそうにないなぁ

ははは残念だが仕方ないな

ポン

ポン

ズズズズ…


一応もう少し探ってみるか？
そうだね～掘り出し物あるといいなぁ
コキ
コキ
ふふ…っ
でも私は神秘を成した古の偉人の業に触れることができたことに感謝しま…
あんたたちは金に執着ないからでしょー？
ビクッ

ねえ…今の…っ
どうした？
はいっ 私も得体の知れない魔力を感じました
まるで異界に迷い込んだかのような強烈な違和感…！
ここに居続けるのは危険だ…！
みんなっ ここにいては危険だ
この部屋からいった…
ん…
!?

な…に…っ

ここは…っ!?

みんなは何処…へ…

ズ キャ…

いらっしゃい…

私の…

庭へ

歓迎するわよ❤
ゾワッ
いまだかつて感じたことのない重圧(プレッシャー)…っ 存在そのものがまるで巨大な魔力の塊…！
ビリビリ
まさか…まさかこいつが件の邪神…！
様子を見るような余裕はない…！
へえ…
判断はやーいいいわねあなた
がんばってねぇ最後のチャンスかもよ？
界の境穿て明
契約に応
万物を焦土と化す爆炎よ我が眼前の敵を焼き尽くせ！
完全に舐めて油断している今が最大のチャンス…！私の放てる最大の術で一気に…

決める…！

まあまあ
イケてたわよ
あなたの魔法

ケラ
ケラ
ケラ

もっと強力なの
あるならもう一度
撃ってみても
いいわよ？

あ…

う…

う…そ…

ひっ

無理だ…っ
今のは私の最高の
術なのにっ
まるで通用しない
なんて…っ

た…っ
たす…っっ

ぎゃっ

むぐっ
ズル
ズル
ズルズル
ふぅ…ぐ…うぅっ

んん
ゼェ

っっかまえたぁ〜❤
あ…っ
うぁ…っ
ギュゥ〜っ❤
ひ…あっ
ひっ
ひいぃ…っ

いったい何処へ
逃げるつもり
だったのぉ？
こんな右も左も
わからない
空間の中で
ズズズ
あなたはもう
籠の中の小鳥
みたいなものなのに
ま…まさか…
この空間はっ
あなたが
作り出したもの…
なの…っ

そうよぉ ここは私が 作り出した 「庭」

ここにあなたの 意識と感覚だけを 引っこ抜いて 招待してあげたの

この空間では 意志の強さ心の強さが とっても大事なのよ

うぅ…

ぐぐ…

あなたが術を 発動できたように できると信じれば そのまま結果へと 繋がるの

だからこれから なにがあっても なにをされても 自分を強く保って いることね

はい 説明終わり

ぽんっ

それじゃ 実践してみましょ

今のはなに…っ!?

うふふふさぁーてなんなんでしょうね？

今のを吸って…身体が疼いたり高揚とかしちゃってたりしてない？

な…なにを言って…

ぞわっ

つっ

なっなに…っ!?急に身体がおかしくっ

まるで攻撃そのものよりも今の言葉に反応したように…

ここは意識と感覚の世界

まさか…っ

……

…そうそうそれで正解❤

なかなか察しが良いわね

あなたがなんともないと強く信じることができれば「なんともない」

そうやって意識を強く保てるように

なにをされても動揺しないように気を張っててねぇ？

ズル…

ところでさっきから気になっていたんだけど…

ヤリ…

あなたのここ…ずいぶんと発育がいいのね❤

っっ

う…くっ

現代の娘はみんなそうなの？それともあなたが特別なのかしら？

くっ

やめ…て…っ

ふっ

ずっしりぃ～❤

う

ん

ヤリ…

んぐ…っ！

なんとも…ない…！

ヤリ…ヤリ…ヤヤヤヤヤヤ

こんなのなんでもないっ

なんでもないっ

なんでもないっ

なにも感じない…！

こんなことをどれだけされてもなんともない…！

そうそういいわよその調子

それじゃあ…

そろそろ生で拝ませてもらおっかな

ご開帳――――❤

ばっ

ぐいぐい

きゃ――――っ❤

くっ

すっごいボリューム～❤

ぱぷぷぷぷぷ

それじゃあ

にゅるるっ

もう一度我慢だめししてみましょうか

ぐぐっ

今度のはすっごいわよ～さっき嗅がせたのなんて目じゃない…

もし生身だったら即発狂ものとおっても濃ゆ～い媚薬よぉ

ちゃんとルールは覚えてるわね？
ひっ
ゆっ
気をしーっかりと保てていればなんともないからしっかりね❤
大丈夫…っ さっきのも耐えることはできた…！ 動揺するなっ
アッ…
何度だって同じように耐えるだけ！
耐える…
だ…
け……
ツッ
ぎゅわっ
ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ
ぎゅぎゅ
ぎゅっ

あらあら〜？顔歪んじゃってるよ気持ちいっいっのっかなぁ〜？
そ…っそんな…わけ…ない……っ
ぐにぐに
えぇ〜？こーんなに震えながら汗にじませて乳首勃起させてるのにぃ？ねぇ？
なん…ともないっ
なんともない…っ
なんともない…っ！
なんどっもっ…だひっっ
ぬーぬーぬーぬー

それならぁ
お汁追加しても平気だねぇ〜
ドァ〜〜〜
ふぐっ
くっ
う…っ
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる

あ
ぅあっ
っ
うそ…っ
こんなっ
あっは❤
ぜーんぜん
駄目じゃない❤
それとも冒険で
溜まってて
エッチなこと
したかったのかなぁ？
そ・れ・な・らぁ
もっと
もーっと
サービスして
あげなくちゃね
これで胸を
しゃぶり倒して
あげる❤
うくっ
や…
やめ…っ
やめ…て…
あ〜〜〜

ばっ!
ガガガ

あ
あっ
あ…
あ
はっ
はっ
はっ
は…ぁ
はっ
はあっ
ニチ…
ぬるる…
あぁぁぁぁぁぁ
ぐぐぐぐぐぐ
じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ
はっ…
ひっ
ひゅー
ひゅー
ぬるるる

こんなに股濡らして期待しているなら応えてあげなくちゃね

っ

ビクッ

たぁ〜っぷり念入りに擦り上げてあげるわよぉ❤

あ…

ビクッ

ぶるぶるぶるぶる

ズル…

こ・れ・で・ね❤

ひっ

や…っ

や…やめっ

ひっ

ひっ

ひ…っ

やめ…でぇ…っ

ゴゴゴ

おっ
おおぉっ
ガクンッ
ガクンッ
ビリビリ
ビリビリ
ビリビリ

あっはははははっ
あ…
っ
ひ…ぉ
早くも
いっぱいいっぱい
って感じね

まだまだ
遊びたいんだから
もっと頑張って
くれなきゃ
あなた魔導に
通じているんでしょ？
もっと強く信じなさい

心を澄んだ水面のように
落ち着かせれば
なにも感じないし
あ…っ
ひっ
う…ぁ
汗もかかないし
濡れもしない
どこを弄くられようと
どうということはない
さあ…下着脱いで
ひ……
ひっっ

所詮は肉体を伴わない
精神と感覚だけの
偽りの世界…

ほら…
声に出して
強く念じなさい
次の責めなど
なんともないと
な…なんとも…
ない…っ
なんとも
ない…っ
な…なんとも…っ
！

…なひっ
ひっ
なんともないっっ
くぱぁ～…
ぬちっ
なん…ともっ
な…
あぁ

ああぁぁぁぁぁぁっっ
無理ッ　無理無理無理
ムリイィィィッッ
もう信じられなひっ
耐えられるなんで
思えぐないいいっっ
ゆるじでっ
ゆるじでえ
ええぇぇぇッッ
ん～～～
どうしよっかなぁ…
そんなに許してほしい？
おっ
おねっ
おねがいじまずっ
おねがひじまずうううっっ

んー…
そーねぇ

ひくっ
ひくっ
ぐすっ
えぐっ

このまま
精神よわよわの
クソ雑魚
魔法使いちゃんを
ただ虐めるだけ
ってのも
つまらないし…

ズズ…

チャンスを
あげる

さあまずは
脱ぎ脱ぎ
しましょうねぇ〜

うあ…ぐすっ

ひぐ

えうっ

やあぁ…っ

ビリ
ビリ
ビリ

ビリ

んっふっふっ
ふ〜ん♪

ひ

じゃるるっ

ん

う

じゃるるるるっ

ううっ

うあぁ…っ

ほら…見なさい
触手を通して
あげたでしょ？
お
んぉっ
一番奥まで
歩いて行って
ゴールしなさい
ぶる
う
ぶる
ぶる
う…っ
それが
できたら
無事に
帰してあげる
でも…
ゴールできずに
音を上げたり
途中で跨いで
逃げようと
したりしたら
ぐっちょん
ぐっちょんに
犯し尽くすから
そのつもりでね
ぐぢゅ
ぐぢゅ
ぐぢゅ
ぐぢゅ

はいスタート❤
うぅ…
ぶるぶる
ぱんっ
ガク
ガク
ガク
ぶるぶる
ぶーっ
ぶーっ
ぶーっ
ぶるぶる
ぶるぶる
あははっ
がーんばっ
ぱんっ
ぱんっ
ガク
ガク
ガク
ガク
ガク
がーんばっ❤
ポタッ
ポタッ
ぶーっ
ぶるぶるっ
ぶ…っっ
ぶるぶる
ぶうううっ
ゴ
ゴ
グ
グ
うぐっ
う…
ガキ
ガキ
ガキ
ガキ
ううう
うう

う……
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる

ゴ
ぎゃあ
ぎゃあ
ぎゃあ
ぎゃあ
ぎゃあ
ぎゃあ
ぎゃあ
ぎゃあ
やべ…っ
ひ
どべでっっ
どめっ
あ
ごれっ
あ
どめっ
やめ…っ
どべでええ
ええええっ
ぎゃあ

ひ
あ
あっ
ぅあ
あっ
あっはっ潮吹きまくりだね❤
あ…っ
お
ちょっとちょっとぉ全然進めてないじゃない一歩くらい歩いてみせなさいよ
やっやめ…っっ
ごれやめ…っやめで…っやべでぇえぇぇっ
うあ…あぁ
あ
やめ…でっ
やめでぇえぇっ
やめ…っ

ぐいっ
ぐちゅっ
ぐぐ…
跨いじゃったね…❤
あ…
あ…っ
あーあぁ〜
あ…っ
ひっ
うあ…っ
ひ…ひイィッ
ご…ごめっ
ごべんなざいっ
ぶるぶる
ぶるぶる
ぶるぶる
ゆるじでぐだざひっ
っ…っぎっ
次はちゃんと
やりまずがらっ
どうか…どうか…っ

んー…そうねぇ
綱渡りはフィジカル
クソ雑魚なあなたより
あの戦士っぽい子向き
だったかしらね

うぞ

このままお仕置きじゃ
ちょっと
かわいそうだし

頭でっかち
うし乳よわよわ
魔法使いちゃん
はぁ

はーっ

ケラ
ケラ

サービスで
ゴール付近まで
運んであげる

はー…っ

私って
やさしーでしょ❤

ぐぐ

ぐぐ

ぐぐ

ぶるぶる

びくっっ

ぐぷっ

おひーーーー

ぇぇ…っ

まっで…
そごっ

おっっ

ずぶぶぶっ

おぼっ
ぬりゅ
ぬりゅ
お
んぼっ
ぼ
ぼ
ぼ
んぼおっ
ナカ
ナカ
ぬりゅ
ぬりゅ
ぬりゅ
ぬりゅ
ぼこっ
ぼぼ
うっ
こんなのっ
嘘…っ
うぞ…っ
嘘だ……っ
こんな…こんなのっ
息もできないしっ
すぐに死んでもおかしくないのにっ
なんでわだしっ
無事なのっ
生きでるのっ!?
うふふーっ
不思議でしょー?

言ったでしょう？ ここには「意識」と「感覚」しかないの

壊れる脳も肉体もないから

息なんてできなくても死ねないし

どんなにめちゃくちゃにしても発狂もできやしないのよぉ

素敵でしょ？

それに…ほら

お腹の中でろっでろの濃ゆ～いのいーっぱい出して媚薬まみれにしてあげたからぁ

さっきまでよりもっともぉーっと気持ちよくなっちゃってるんじゃない？

おぶっ

お

えぶぅっ

なんで…なんで…っ

こんなのっ苦しいはずなのにっ

なぜこんなに気が狂いそうなほど気持ぢいぃのっ

こんなの頭おかしくなりそうなのにっなんで思考はクリアなままなの…っ!?なんで…なんでぇぇぇっっ

ふっ

わ

ぶぷぅっ

うぶっ

ずぢゅぷっ…

っっ

はーい
運びますよ〜
んおっ
ガクン
お
ガクン
げほっ
ガクン
おおっ
んおぉ〜っ
るん
るん
るん
んぉぉっ
えぅっ
びくっ
びくっ
おぶっ
っ♥
びくっ
えっ
んぶっ
♥
到ぉ着ー♪
よいしょ…っと
びくっ
びくっ
びくっ
びくっ
すりすり

じゅぽっ
るるるるるるるっ
ぶぶぶ

うっ
ぬるぬる
ぬるぬる
ぬるぬる

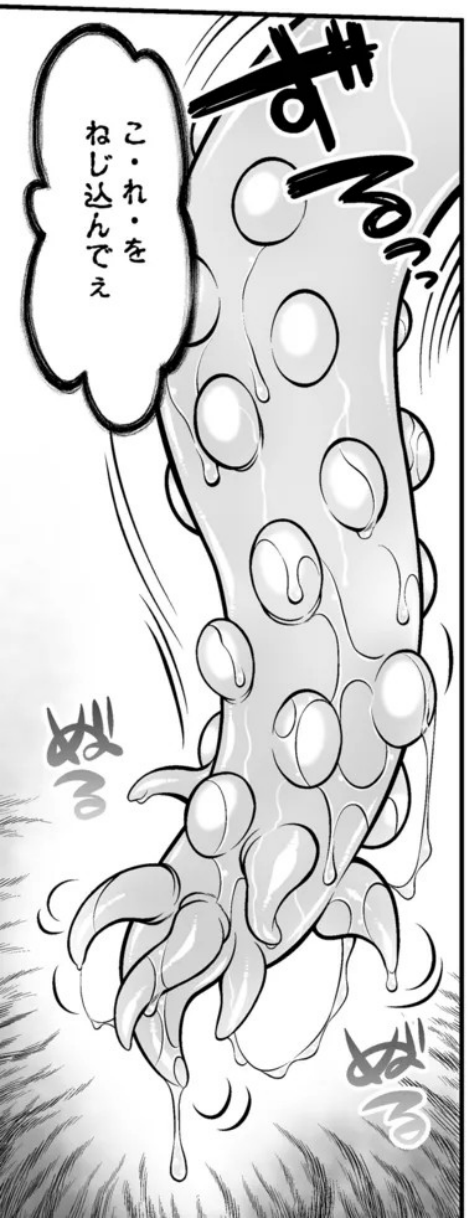
いつまでもぞもぞやってんのお？
必死すぎて愛らしいけどぉ
眺めてるの飽きてきちゃったからそろそろ締め切っちゃうよー？
ほらじゅーうっ
あ……っま…まって…まって…っ
きゅーうっ
ろーく
まっで…まっでぐだざ…っ
ごーお
にーい
まっでぇ…っ
まっで…まっでえぇぇ…っ
いーち
ぜ
ろ
ぶっぶーう
まっで…っ今登るがら…っ
ひっ
時間切れでーす
ぜっだい登るがらぁっ
ま…っっ

腕…っ
振り
ほどけない…っ
身体…も…っ
固定
されて……っ
もが…っ
うぶっ
ひっ
はひっ
ひイ…イッ

じゅるるるるる
ズボボ
ズボボ
ぶぼぼぼぼぼ
ぶぼぼぼぼぼ
ぶぼぼぼぼぼ

あはははっ
漏らしちゃった
股ゆるすぎぃー♥
おっ
んおおっ
でも庭なら
脱水症状も
起こらないから
いくらでも好きなだけ
うれしょん
していいよ〜
おっ
ご…っ
んぶぅっ
おぼっ
んぉぉ
あー
反応が新鮮で
嬉しく
なっちゃうなぁ
げぼっ
うぇっ

あ…
ぴくっ
うあ…っ
ぴくっ
っ
ひゅっ
ひゅっ
ひゅっ
う……
ぴくっ
ビクッ
ビクッ
…っ
…あ…っ



ごりっごりに
ほじくって膣内
舐め回して擦り上げて
たぁっぷり開発して
あげるんだから❤

ひ…っ

ひ

ひぃっ

ひひっ

ひぃぃぃぃ

やめっ

やめでっ

だいじょーぶ
だいじょーぶっ

すーぐに
腰抜けるほど
気持ちよーくして
あげるから❤

ね❤

や…

めっぉっ

んぉっ

ぶるぶるっ
ぶるぶるっ
ぶるぶるっ

もう反射的に腰へコっちゃってかっわいい❤あなた本当にいい反応するわね

はっ

かはっ

はひっ

…んん？

は…ぁ

あっれぇ～？

ひょっとしてあなたひと突きごとに達しちゃってない？

はひぃっ

どれどれいーれてぇ

あぶっ♡

お♡

ぬーいてぇ

んぁぁ♡

あはぁひと突きどころかひと擦りだけで達してるーっ雑魚すぎ❤

でも仕方ないかあ生身なら軽く十回は意識ぶっ飛んでるくらい気持ちいいもんね❤

そ・れ・じゃ・あ
はっ
ひ
さっき大好評だったおっぱいとクリトリスとお尻…あとついでに尿道もほじくっちゃおっかなぁ
無理ッ
ひぬっ
むり…っ
ぞんなどころはいらなひっ
むりぃィ…ッ
おぁっ
っ
っっ
あっいーい反応❤尿道好きなんだ？
クリの根本の神経の集まってる場所を刺激されるの凄いでしょーみんな泣いて悦ぶんだよね

スポット連続
擦り上げ〜からのぉ
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ

決めちゃえ
全部イキーッ❤

ひぃっ

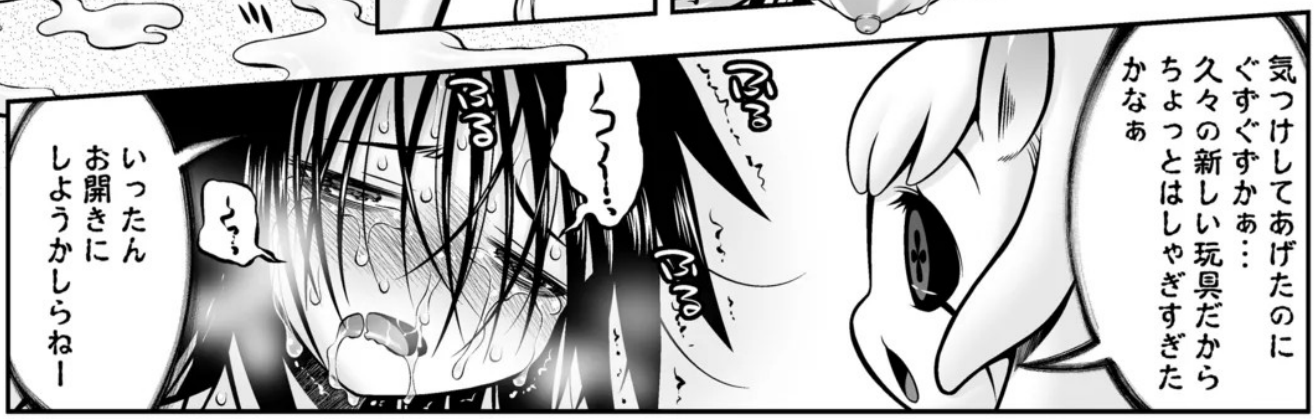
ずぼぼぼ

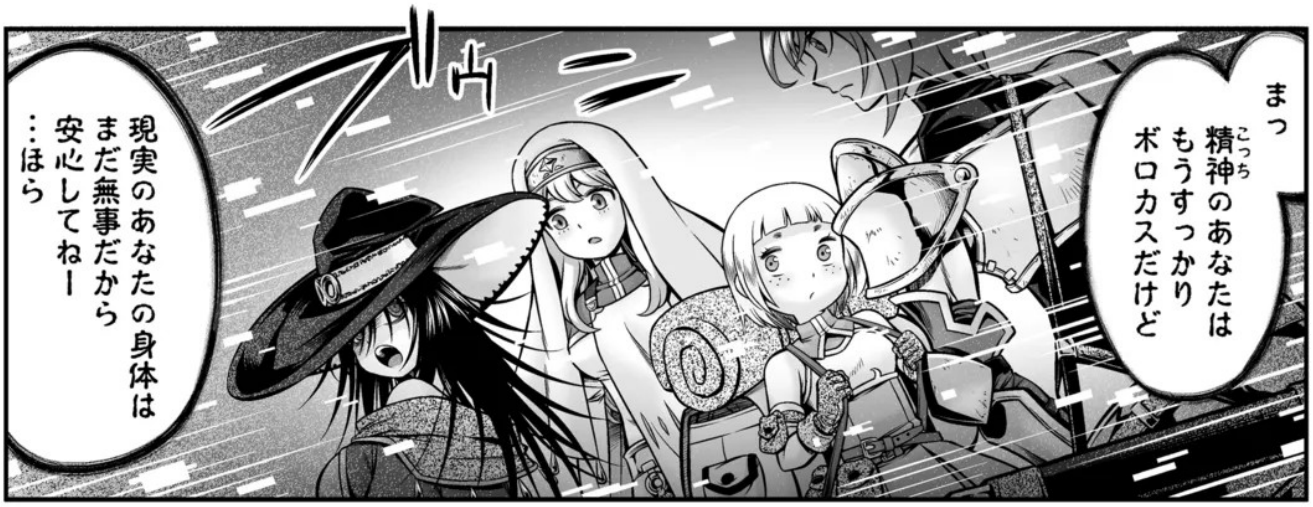
あっは
はへっ
お…
んあ
うあ…
ひくっ
ひくっ
ひくっ
ひくっ
抜いてもずっと痙攣してるー
あれれ？
ねえ
ねえってば
ちょっと
ぴくっ…
ぴくっ
ぴくっ
もうへばっちゃったのぉ？
ビクビクッ
ビクビクッ
ビクビクッ
それじゃ気付けしてあげなくっちゃだね～
あ

ぶぽぉ…
ぶぽぉ
ぶぽぉ
ぶぽぉ

ぎゅ――♥
ぶしゅ
ぶしゅ
ぶしゅ

あなたが誰かを愛しまぐわい得たであろう快感の
あ…❤
あへ
びくっ
びくっ
びくっ
その一生分よりたくさんの快感を一気に味わっちゃったねぇ～
へ…っ
くっっ
コポポポ…
どろっ
ビチャッ
ビチャッ





そうね…
あなたには
まあまあ楽しませて
もらったし…
帰してあげよっか？

ぐすっ
ぐすっ
は……
ずるるるっ
あ…？
あ…か…
かえ…っ？
おっ
おね…っ
おねが…
じまずっっ
お願いじまずっ

どお？
私って優しい？

はっ
はっ
はっ
はっ
はいっ
はいっ
はひぃっ

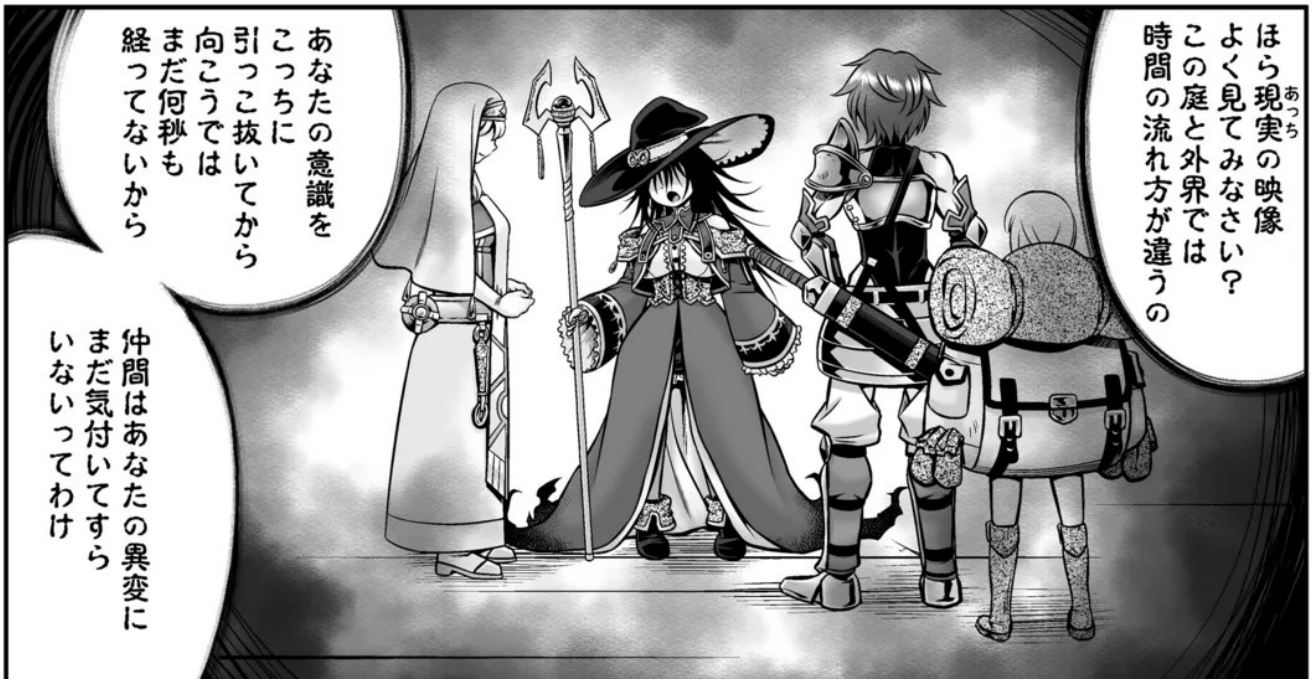
戻れたら
私の惨悲に
感謝とかしちゃう？

ずびっ
はぃっっ
じまず…っ！
一生がんじゃ
じまずぅぅぅっ
ずるるるっ

じゃあ帰してあげる❤

はっ
はっ
もに
もに

でもその前に注意事項を
お知らせしまーす



向こうに戻したら
こっちでの体験が
現実の数秒に圧縮されて
還元されるから

……え…

気をつけてね？

っ

っっ

……は…え？

数秒で体験しちゃう
人生何周分もの絶頂なんて
もう想像もできないよね～

え？

え…？

え…あっ

？
どうした？急にかたま…
って…
ぶぶぶ
ぶぶぶ
ぶぶぶ

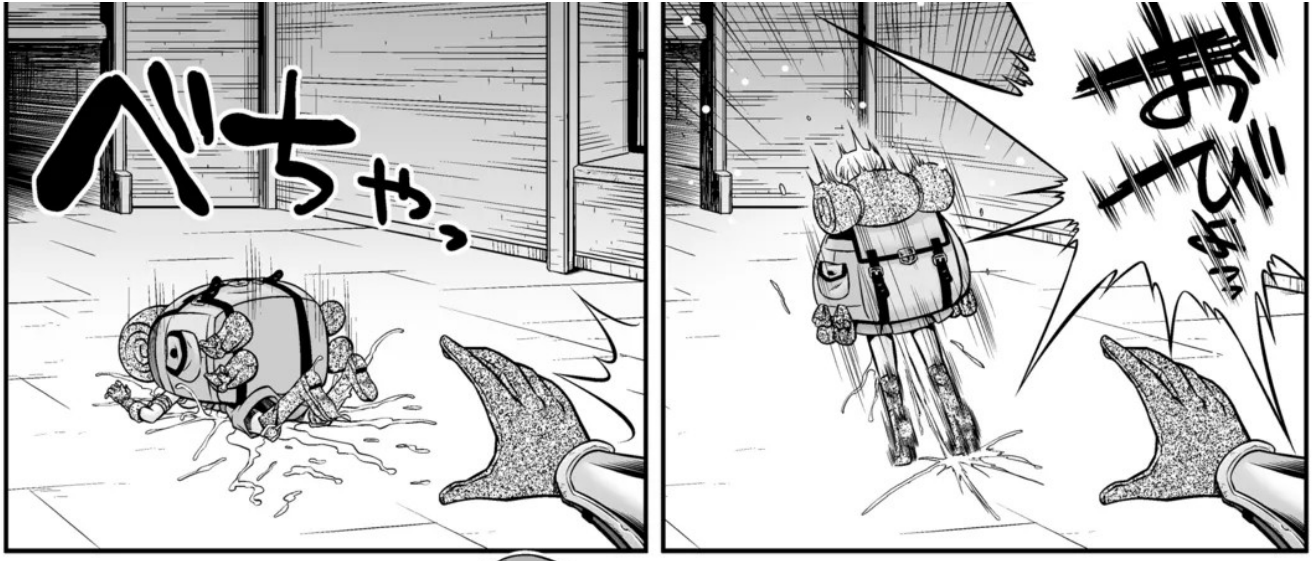
ぺちゃっ

ぴくっ
ぴくっ
ビグッ
ビグッ
ビグッ
ジョロロ…
ジョロロ…

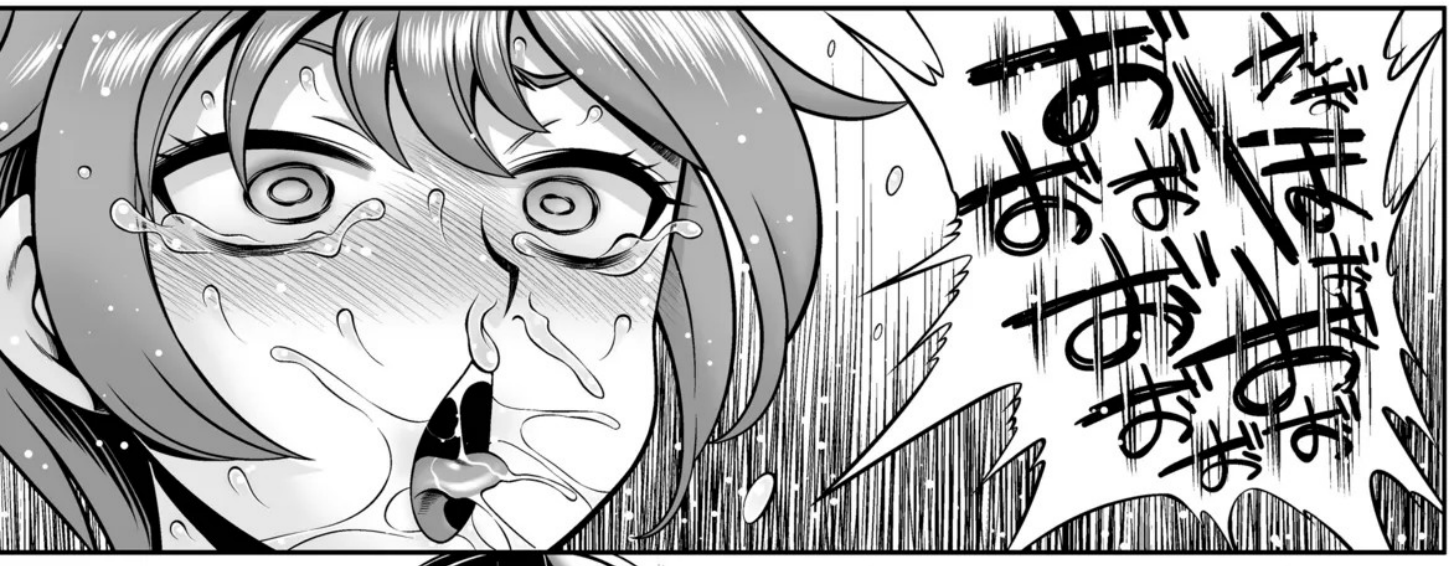
た…っ
大変！

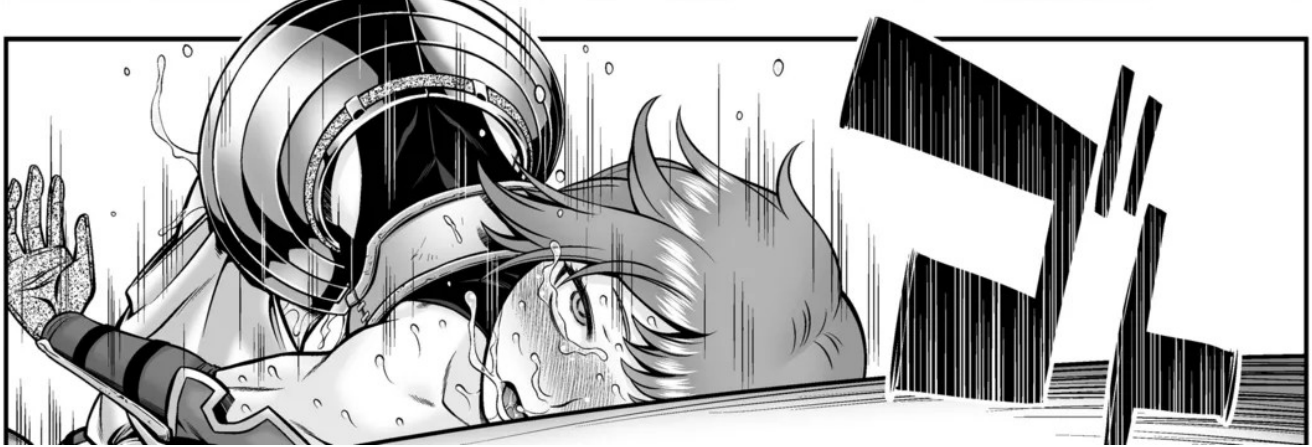
すぐに
治療をしな…

ひっ
ひぃ…っ なっなにっ
いったい なにがどう なってるの…!?
ひいぃいっ たたたっ 助けてぇ
ダッダッダッ
あ！
おいっ
どこに行く気だ 仲間を見捨てる気か


ぶびぃ
べちゃっ

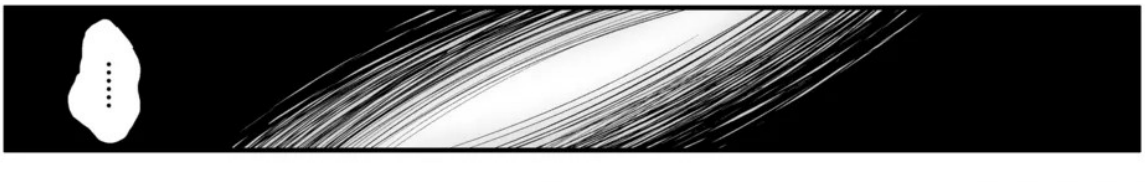
くっ
クソッ
ギャッ
卑怯だぞっ
何者か知らんが
姿を見せて
正々堂々と
たたか…


ぎぼぼぼぼ
ぶぶぶぶぶぶぶぶ


ゴ

ビチャ
ビチャ

ぴこ…
ぴこ


……

……う……
ぴこ…
あ……？

私…っ
な…なんで
こんなところで
気を失って…

ゆら…

ガク
ガク
ガク
ガク

ぞわぞわ
ぞわぞわ

ビクッ

あうぅぅ❤

ビクッ
ビクッ♡

ビグビグ

そ……そうだ…！

は…っ❤

う❤

思い出したっ
邪神に襲われ
たんだった…っ

か…っ
身体が異常に
敏感に
なっちゃって
いる…っ

びくっ

びくっ♡

あく…っ

う

ぶるる

ぶるるっ

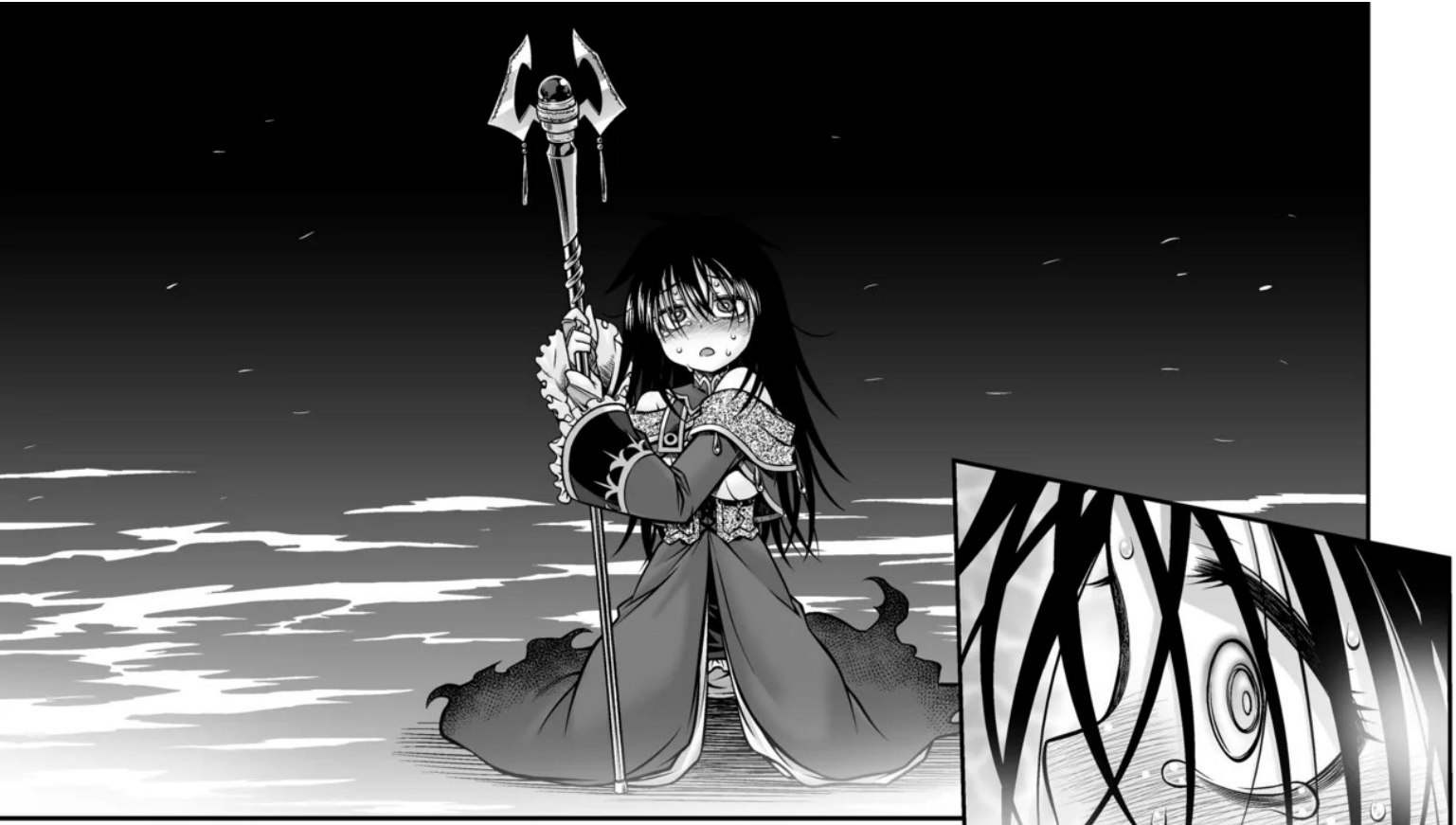
ぶるるっ

ぶるるっ

は…はや…く…
遠くへ…っ
ガク ガク
ガク

あぐ…うぅっ
ずるるっ
ビチャ
ビチャ

身体に…
力が入らない…
ビク
ビク
ビクッ



ガガガ

ダーメ
ゆ……ゆる…っ
ダメダメ
ダメダメダメダメダメ
ダメダメダメダメダメ
ダメダメダメ

ビシィッ
ズズズ
ぎゅうう
ぐぅう
ぐぅ
んん～っ
あっ
ん
あ
っ
じゅぽ
ずぽ
ひあっ
じゅぽぽぽ
ぐぽぽ
んあ
お――っ
あ
お
っ
ぐちゅ
ぐぢゅ
ぐぢゅぐぢゅ

あっ
お
んあぁっ❤
ほらどーお？これ
あ
んおおおおっ
あっ
おぉ
おっ
あぅあぁっ
みんなかわいいでしょー？
っ
んむぅぅっ
ん
んぶぅぅっ
ぶ
げっ
んあ❤

この子たちは遠く神代の時代神々と精霊の力を借りて私をこの地に縛り付け封じた神官とその巫女たちよ
ごぼっ
あっ
げぽっ
っ
あ
お
っ
んごおっ
はあっ
かはっ
ぐっ
見ての通り今は私の可愛い愛玩動物だけれど❤

ちょーっと戯れに国をふたつみっつ滅ぼしただけなのに寄ってたかって封印されちゃったの

封じられて動けなくなっちゃったし力もほとんど行使できなくされちゃって散々よぉ

だから私の残りの全権能を注ぎ込んで創ったのがこの「庭」

あとは転げるようにこの有様❤
お
もう決して快感からは逃れられない
おぐ
あ❤
お…に…ざまっ
おごっ
おっ
おごぃ…ざまっ
なにが愉快かって苦痛でのたうつのとは違っていろんな反応が楽しめるってところね
あなたが最初っから気持ちよーくしてもらえたのはこの先輩たちのおかげよ偉大な先人たちに感謝！だね～

あっ

そうそう！みてみてーっ

こっちのこの子はね一番のお気に入りなの❤

今日は気分がいいから久しぶりにお話しよっかな

この中で一番幼くて

純真で潔癖でもすっごく意志が強くて一番我慢強いのよぉ

やっほー久しぶり

お加減どーお？

だから一切愛撫なしのまま特濃のガスだけをずっとずっとずうっと何百年も吸わせてあげてるの

流れ落ちる汗が性感帯を通ると身体を震わせてて可愛いんだぁ❤

ねちゃ
くくくくっ
ぁ
ぁ
ぁ
……
ぶわっ
…お……っ
おね…が…
じまず…っ
お…っ
おかっ
犯じで
ぐだひゃひっ
ぐずっ
えぐっ
えぐっ
おながっ
切なぐで
どうにかなっで
じまいまずっ
えぐっ
わだじもっ
イかせでぐだじゃひっ
おまんごっ
ほじぐっでぐだひゃいっ
ひっく
ぶるる
ぶるる
うえぇっ
どうか…どうがっ
いか…いがぜっ
イがぜでぐだざいぃひっ
えっぐっ
ぶるる

ひっ
あ…っ 貴方様に仕えますっ
ひぐっ
に…にど…とっ 二度と 逆らいません…っ
ひっ
忠誠を誓いますっっ
ぐずっ
ぐずっ
ひっくっ
ぐずっ
跪きまじゅっ
足をなめますっ 尽くしますがらっ
頭を垂れますっ
だからっ だがらどうがっ
お情けを… お情けを ぐだじゃいぃ…っ
お慈悲を ぐだぢゃいぼぜ…っ

うふふっ
でも今日は
気分がいいからぁ

あ…❤

特別に乳首を
カリカリして
あげちゃおっかな

うあぁ❤

どーおぉ？
嬉しい？

ほら…

引っ掻かれるたびに
どんどん
感度が増していく…

もう爆発寸前…

ぜえええええ
ったいに
絶頂できなくて

だけどこの子は
私の許可なしには
絶対にイけないの

何故なら
そうなのだと
信じてしまったから

うえぇっ

イがぜ
でぇ…っ

たとえマンコ
ぐちゃぐちゃに
ほじくられても

ぅあ❤

えぅぅっ

ひん

イが…で
…がぜでぇっ

どんなに蕩けてても
限界まで快感が
せり上がってても

ぅあぁ…っ❤

潮を吹こうが
おもらししようが
絶頂何百何千何万回分の
快感を受けてても

快感が
ずっとずっと
ずぅぅぅーっと
蓄積されていく
だけなのよ❤

あらあら
泣きじゃくっ
ちゃってぇ

そんなに
つらいのぉ？

づらひっ
づらいでずっ
づらひいいっ

おゆるじぐださひっ
あ…っ
あるじざまぁ…っ

じゃあ大サービスで
クリトリスも
カリカリしてあげるね

あら～
いい反応❤
あなた
クリ大好き
だもんね～

ああああ
もう
だえられなひっ

いけるいける
がんば
がんばぁーっ

えぐっ…ひっくっ
あ…あるじざま…っ

お願いじまずっ
あるじざまあぁっ ぐるう…っ
狂っちゃうぅぅっ

ふふっ
それじゃ
可哀想だし
これくらいに
しとこっか

あっ
あぁっ
まっ

まっで
ぐだざひっ

はい
おしまいっ

もう
何百年かして
気が向いたら
イかせてあげる

ぱんっ

ひぃっ

ぞんなっ
ま…まっでっ
ぐだひゃひっ

まっで

ずぶっ

ま…で

ぐぶっ

一気に開放したら
どうなっちゃうのか
楽しみ〜

まっで…っ
まっでまっで
まっでまっで
えぇぇぇ

まっで

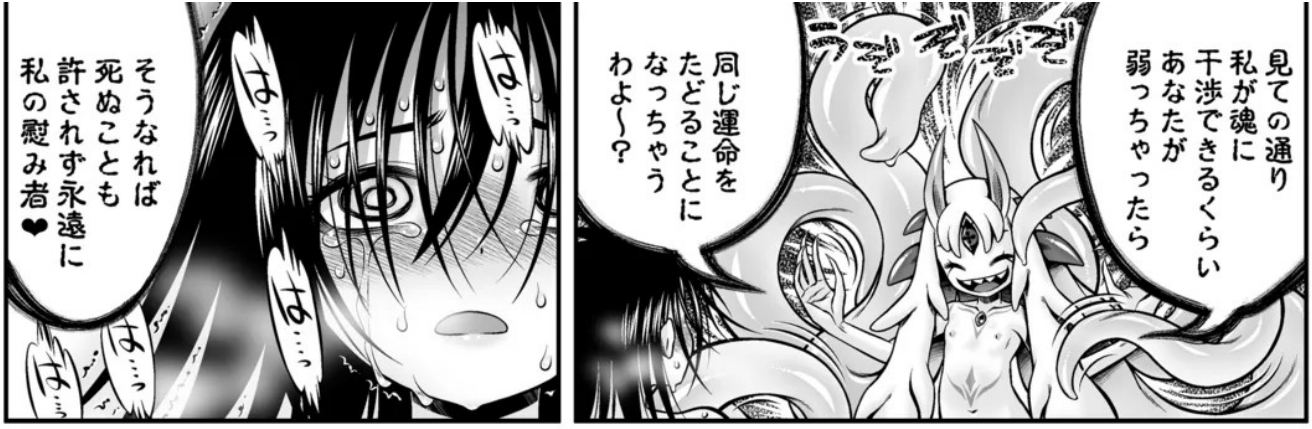
ま…っ

さて…っと

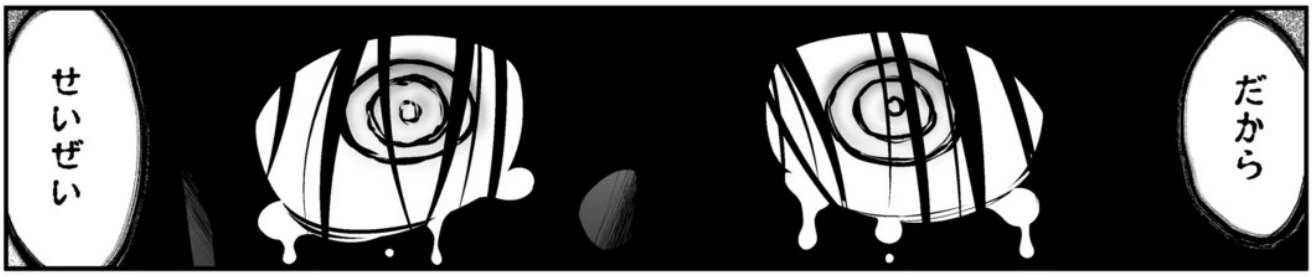
ぎゅーっ

どーお？

自分の立場
理解できた
でしょう？


見ての通り私が魂に干渉できるくらいあなたが弱っちゃったら
同じ運命をたどることになっちゃうわよ～？
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
そうなれば死ぬことも許されず永遠に私の慰み者❤

でもまだあなた達には助かるチャンスがあるわ
「庭」を封印の外まで展開してられるのはせいぜい三日が限度だし
範囲もあの部屋を覆う程度
部屋の外まで逃げ切れればあなた達は助かるのよ


だから
せいぜい

がんばって
ね❤

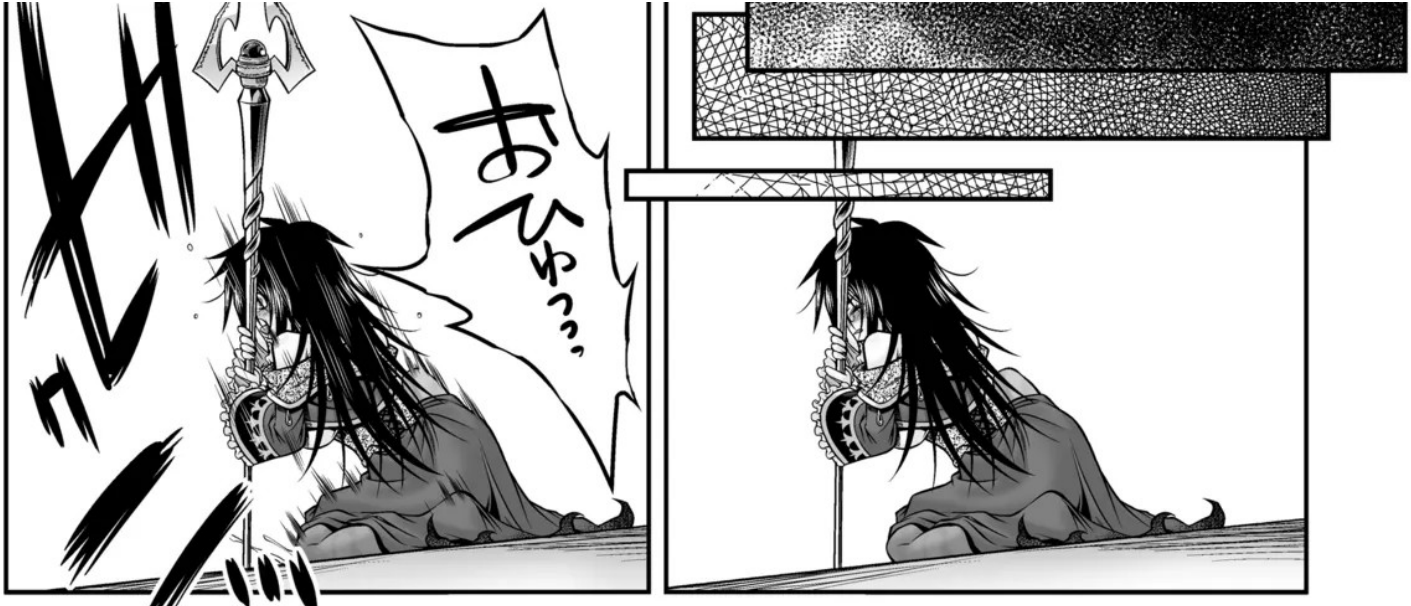
さーて
今度はなにして
遊ぼっかなー

さっき床を
のたうってるの
可愛かったからぁ
全身クリトリス並の
感度にしちゃう
ってのもいいなぁ

あっ

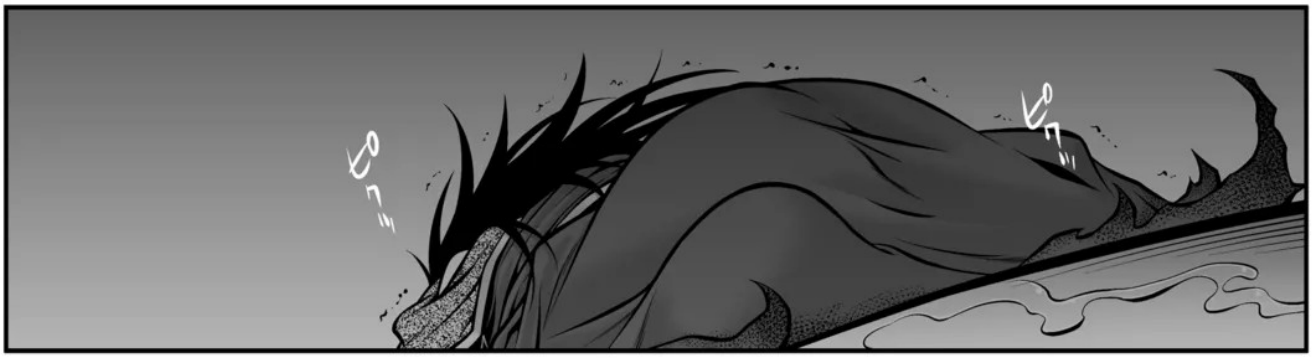
せっかくおっぱい
大きいんだし
母乳垂れ流しに
なるまで開発して
ミルクタンクに
するのもいいなー

あなたは
どっちがいーい？


おひゅっっ

ぺぺぺぺぺぺ

ビビッ
ビビッ
ゴゴゴゴゴゴ


ビクッ
ビクッ

あとがき

お久しぶりです。はじめての方ははじめまして。南☆です。

近年一冊描くのにあまりにも時間がかかっているのでこれはいかん！
短い期間で描けそうな少ないページ数の単話のものを一本描こう！　と思い立ってはや一年。
期間もページ数もおかしなことになってしまいました。こいつもうだめだ。
とにもかくにもまた長ったらしい感じになってしまいましたが楽しんでいただければ幸いです。

それはそうと、作業通話をしている際に知り合いに、
「その人外娘ちゃんはいつ犯されるんですか？」
と聞かれて、そういえばこいつこんなにイキり散らかしているのになんでファックされないんだろう？
と途中からずっと悶々としながら描いていました。

次回作ですが、予定では聖女様本の続きですが、最近良さげな話をいくつか思いついて
新しく考えたこともありそちらに後ろ髪を惹かれまくっています。５人くらいに分身したいです。

ではでは、どうなるかわかりませんがまた次回作でお会いできれば幸いです。

登場人物紹介

魔法使い

そこそこ高位の魔術師
出不精で自前の研究工房に籠もりきりだったが、
冒険者たちでは調合素材の見分けがつかないため渋々同行。
文献で得る知識と実体験で得られる知見の差を知り、
以降冒険に同行するようになる。
仲間と冒険するの楽しい！　これからも未知の体験ができる予感…！

剣士

英雄譚に憧れて冒険者になる。
腕っぷしに自信があり、
そこらの男には引けを取らない。
チームの盾となり剣となり肉弾戦を
一手に引き受ける頼れるリーダー。
いつか竜や魔族にも剣を届かせてみせる…！

僧侶

たまたま行き倒れていた負傷中の剣士を治療し
半ば強引に勧誘され冒険に出ることに。
浮世離れしておりしばしば頓珍漢なことをして
仲間を困らせることも。
お人好しですぐに人の話を信じてしまう。

スカウト兼荷物持ち

罠鑑定と解錠はお手の物。
戦闘は仲間に丸投げで
さっさと身を隠してしまう。
金勘定にうるさくがめつい。

■誌名　：邪神の庭
■発行　：かぜうま
■発行者：南☆
■発行日：2025年10月18日
■連絡　：isogai@big.or.jp

※未成年者の所持閲覧を固く禁じます
※無断転載・複製、
　ネット上へのアップロードを禁じます